

2012 FIA F1世界選手権シリーズ第15戦 日本グランプリレース
メディアインフォメーション Vol.11 ※改訂版

2012年9月28日
株式会社モビリティランド
鈴鹿サーキット

往年のF1マシンを中嶋悟氏、鈴木亜久里氏がデモラン！！
偉大なる挑戦で人々の記憶に刻まれた4台のF1マシンと2人の元F1ドライバー

決勝日(10月7日(日))に行われる往年のF1マシンによるデモ走行の詳細が決定。走行マシンはHonda RA272(1965年)、ロータス101・ジャッド(1989)、ラルースLC90・ランボルギーニ(1990)、フェラーリF2003(2003)。日本を代表する元F1ドライバー中嶋悟氏、鈴木亜久里氏がドライブします。

■鈴鹿サーキット開場50周年記念 鈴鹿を駆け抜けたF1マシンデモ走行

日時:10月7日(日) ※時間未定

場所:国際レーシングコース フルコース

マシン・ドライバー:ラルースLC90・ランボルギーニ 鈴木亜久里氏

ロータス101・ジャッド

中嶋悟氏

Honda RA272

※ドライバーは決定次第、発表させていただきます。

フェラーリF2003

※ドライバーは決定次第、発表させていただきます。

■走行マシン・ドライバー

ラルースLC90・ランボルギーニ(1990)



鈴木亜久里氏



鈴木亜久里を日本人初表彰台に導いたマシン。1990年日本GP、9番グリッドからスタートした鈴木亜久里は、第1コーナー手前でダートに片輪を落としながらも豪快にオーバーテイクを決めるなど、多くの見せ場を作り終盤に3位に浮上。サーキット中が興奮の渦に包まれる中、日本人初の表彰台を母国GPで決めた。

ロータス101・ジャッド(1989)



中嶋悟氏



日本人初のファステストラップを記録し、中嶋悟がもっとも表彰台に近づいたマシン。1989年最終戦のオーストラリアGPは雨でスタートから大混乱。後方からのスタートだった中嶋は一気に追い上げ終盤に4位を走行。ファステストラップを記録しながら3位のマシンにテール・トゥ・ノーズまで迫ったが、巻き上げる水しぶきをエンジンが吸い込みスピードが上がらず、惜しくも4位でゴール。日本人初表彰台は幻となった。

Honda RA272(1965年)



HondaがF1初優勝を飾ったマシン。1964年にRA271でF1に初参戦したHondaは、2年目の65年に改良型のRA272を投入。第3戦で4番グリッドを獲得し、決勝は6位でチェッカーを受け初ポイントを得た。その後も入賞を重ね、最終戦メキシコGPでR・ギンサーが予選3番手から追い上げトップチェッカー。見事Hondaに初優勝をもたらした。

フェラーリF2003(2003)



M・シューマッハが6度目のチャンピオンを鈴鹿で決めたマシン。

※デモ走行の内容は変更となる場合がございます。